



記録からひらく表現

日時：2023年12月9日(土)

14:00-17:45

会場：広島大学東千田キャンパス

未来創生センターM303講義室

14:00 開会 司会 中尾麻伊香

14:30 「死んでからもなお生きつづけること」

小林エリカ

15:20 「How to Keep it in the Body

ーヒロシマのアーカイブについて考えるー」 福田恵

16:25 コメント

柿木伸之 山本昭宏

16:45 総合討論



核や原爆の歴史をめぐって、私たちは残された記録から想像や解釈を行い、その意味を現代に問うています。小林エリカさんは、マリ・キュリーの手記などを繙きながら、核の歴史を目にみえないものや個人史として紡ぎ直し、漫画や小説をはじめさまざまな手法で表現されてきました。環境をテーマにインスタレーション作品を制作してこられた福田恵さんは、お祖父様が8月6日について書き残した手記をもとに、家族4世代の物語として構成した映像作品を今年制作されました。本ワークショップではお二人の表現活動から、記録や記憶と向き合い、表現していくことの可能性について考えていきます。

参加費無料
申し込み→



プログラムの詳細については下記ページをご参照ください。
<http://www.genbunken.net/>